

平成23年度 第2回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 会議録

1. 日 時

平成23年7月19日（火）午後2時00分 ～ 午後4時15分

2. 場 所

二宮町役場 2階 第1会議室（神奈川県中郡二宮町二宮 961 番地）

3. 出 席 者

- ・二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員

高橋会長

井出委員 原委員 西山委員 伊藤委員 池田委員

田邊委員 神委員 高見委員 井上委員

- ・事務局（二宮町政策部企画財政課）

秋澤課長 林班長 山口主任主事

- ・傍聴者希望者

なし

4. 議 題

- （1）次期男女共同参画プランの策定について
- （2）男女共同参画に関する町民アンケート調査（第2回）の実施について
- （3）推進連絡会による推進活動の検討について
- （4）その他

【説明等】

- ・ 男女共同参画プランは法律上の位置付けもある重要な事柄なので、具体的な検討を始める前に「策定方針」を定める必要がある。本日の会議で意見等あれば修正を加え、内部で協議していきたい。
- ・ 「男女共同参画」の硬い印象を柔らかく表現できる方法等があれば意見をいただきたい。
- ・ アンケートについては、前回は基に他自治体での調査項目を参考に、地域や職場、DV等、新たな項目を追加した。回収率の向上策として、回答用紙を複数（3枚）入れる予定。
- ・ 「出前講座」については、まず地区長連絡協議会への事前調整が必要となるため、具体的なテーマを設定する必要がある。今回は視点を換え、「介護」をテーマに「にぎわい塾」とのタイアップを提案する。
- ・ 地域が関心を持てるテーマ（名称）について意見をいただきたい。

- ・ 「情報誌の作成」については、11月10日発行の「広報にのみや11月号」で、「DV防止」の啓発と合わせ1面（1頁分）確保することができる。〆切は10月5日となるので事前調整も踏まえ、9月下旬までに提出いただきたい。
- ・ 「一般町民向け講演会」については、広域連携の一環として「葛川サミット（中井町・二宮町・大磯町）」事業として、本年度ラディアンで開催を予定している男女共同参画講演会の進行等を委員の皆さんで進めていただきたい。
- ・ 「自主的な男女共同参画推進組織」については、設立・育成に向けた検討を進めていく前段として、委員同士で自由に連絡を取れるよう「連絡先」「住所」を公開してはどうかとの提案があった。
- ・ 選出母体団体へ周知について、今回は特に周知するものがなかったが、周知を図りたいものがあつた際には協力をお願いします。
- ・ 閉会后、東京都大田区の男女共同参画に関する取組みの紹介DVDについて30分程度の上映を予定しているので、お時間に余裕があればご覧いただきたい。

【意見等】

- ・ 「にのみや男女共同参画プラン（第2次）」とした方がよい。
- ・ 男女共同参画は「ほほえみをはぐくむ」こととも言える。男女共同参画シンボルマークの顔のそれぞれに「ほほえみちゃん」、「はぐくむくん」等と名付けることで親しみが持てるかもしれない。
- ・ 若い世代の回答が少なく、年齢層の高い世代の回答に引っ張られてしまう。抽出条件に手を加える必要はないのか。→ありのままの二宮町の状況を把握するために無作為抽出で行う予定でいる。分析の際に年齢構成に配慮した見せ方（「町全体の意識」、「年齢構成別に見た意識」等）をすることはできる。
- ・ 回答者の属性についてここまで聞く必要があるのか。→前回との比較も想定し同様としてある。一般的な項目であると考えている。
- ・ 職業分類が細かく、わかりづらい。詳細を個々に分析しないのであれば聞く必要はないと思う。→新たな分析の視点（切り口）を持ちたくなった場合に、詳細を把握しておかないと分析できない。
- ・ 「結婚しているか」や「子供がいるか」等、デリケートな質問もあるが、この聞き方（表現）でよいのか。→選択肢の表現はスペースの関係で字数を制限して作成しているが、おかしい聞き方にはなっていない。

- ジェンダー的な配慮を要する事柄ではあるが、意識調査ということなのである程度踏み込んだ質問をすることはしょうがないと思う。多少の苦情もあるとは思いますが、ご理解いただき、協力してもらおうということによいと思う。
- 回答用紙は3枚同封し、2枚は家族の方に協力を仰ぐとのことだが、男女共同参画は家庭によって慣習が存在するので調査結果に偏りが出るのではないか。→専門業者に意見を聞いてみる。
- 「出前講座」は申込みが多い場合には、無理のない範囲で複数回実施することも検討する必要がある。
- 団体からの推薦されている委員は、意向の吸い上げにも協力してほしい。
- 他の家庭の男女共同参画の状況を知ったり、比較することは刺激になる。
- 高齢化が進んでいるため、「介護」の需要は年々伸びているが、実際にその負担は女性（特に嫁）に集中しているように感じる。介護に男性の参画を求めることは有意義に感じる。「介護」は地域の関心も高いのでよいテーマだと思う。
- 高齢者の親を抱える家庭も増えてきているが、息子はノータッチで、専ら嫁が世話をしていると耳にする。買い出しでさえ、嫁が面倒を見なければ行かないといったような話も聞く。
- 出前講座の表題を「息子さん 親孝行してみませんか？～お父さんお母さん よろこびますよ♪」等とすると、柔らかな呼び掛けで男性の参加者の興味を引くことができるのではないか。
- 11月の広報紙への掲載であれば、メ切に間に合わせることができると思う。アンケート結果を上手く活用し、興味を引くデータを載せることもできる。まずは集まれる委員で会合を開き、どんなことをテーマに記事を作成するか考えたい。
- 推進連絡会による推進活動は、ボランティア的な活動でもあるため、委員によっては負担が大きくなり過ぎるということもあることから、無理せずできる範囲で協力いただければよいと思う。
- また、出たくても出られない委員もいると思うので、推進活動については推進連絡会での合意を取ることとし、参加できない場合にも実施される推進活動については賛同してもらおうようにして、意思統一を図るべき。

5. 決定事項

- 平成 23 年度 第 2 回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会の公開の決定。
- 「プラン名称」及び「シンボルマークの活用」の検討。
- アンケート「表紙」及び「調査項目」の修正。
- アンケート「配布枚数」の検討。
- 「出前講座テーマ」及び「にぎわい塾」との連携の決定。
 - ※ テーマは「介護」とする。
- 「広報にのみや 11 月号」への啓発記事掲載の決定。
 - ※ 後日、自主的な会合でテーマや啓発内容を検討して作成する。
- 推進連絡会委員相互の「住所」「連絡先」の公開。
- 第 3 回推進連絡会の開催日時の決定。
 - ※ 10 月 3 日（月）午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分